

事務事業評価調書

施策体系		全員活躍社会			所管課班		①総務課人事班②教職員課人事・業務改善班			
事業名		障害者雇用の促進対策事業（平成31年度～）			連絡先		①078-362-3738②078-362-3750			
事業に要するコスト	区分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①					60,390千円				
	経費内訳	報酬・賃金				47,340千円				
		委託料								
		補助金・交付金								
		貸付金								
		その他需用費等				13,050千円				
	（財源内訳）	（国庫支出金）								
		（県債）								
		（その他[]）								
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(60,390千円)				
	人件費②（a+b+c）		従事人員		従事人員		従事人員		従事人員	1.4人
			0千円		0千円		0千円		12,467千円	
	職員給与費 a								10,792千円	
	賞与引当金繰入額 b								763千円	
退職手当引当金繰入額 c								912千円		
総コスト（①+②）		従事人員		従事人員		従事人員		従事人員		
		0千円		0千円		0千円		72,857千円		
[うち事業拡大分]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】			
	法定雇用率の達成に向け障害者の雇用を進める 31年度:21人雇用 (2021年最終目標) 法定雇用率2.5%	目標				21	法定雇用率の達成			
		実績（見込）				(21)	【2021年】			
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]				(3,469千円)				
		達成率（見込）				(100.0%)				
		目標								
		実績（見込）								
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]								
達成率（見込）										
評価	国が定める法定雇用率(2.4%(2021以降2.5%))未達成の団体は、①2019.1を始期とした2年間での法定雇用率達成が求められていること、②2018.4から3年以内に法定雇用率が2.5%に引き上げられることから、2021年に向けて計画的に取組を進める。									
3年目の見直し	—									

事務事業評価調書

施策体系	全員活躍社会		所管課班	特別支援教育課教育推進班			
事業名	キャリア教育・就労支援推進事業（平成26年度～）		連絡先	078-362-3774(内5832)			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	20,360千円	20,887千円	12,141千円	12,172千円		
	経費内訳	報酬・賃金	8,451千円	4,219千円	4,272千円	4,272千円	
		委託料					
		補助金・交付金					
		貸付金					
		その他需用費等	11,909千円	16,668千円	7,869千円	7,900千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(14,499千円)	(1,776千円)	(1,873千円)	(1,874千円)	
		（県債）					
		（その他[]）					
		（一般財源）	(5,861千円)	(19,111千円)	(10,268千円)	(10,298千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.3人	0.3人	0.3人	
			879千円	2,711千円	2,662千円	2,671千円	
		職員給与費 a	773千円	2,352千円	2,303千円	2,312千円	
		賞与引当金繰入額 b	46千円	164千円	164千円	164千円	
退職手当引当金繰入額 c		60千円	195千円	195千円	195千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.3人	0.3人	0.3人		
		21,239千円	23,598千円	14,803千円	14,843千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	高等部卒業生の一般就労率 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム） （目標：全国平均水準への引き上げ）	目標	23	28	29	30	32
		実績（見込）	26.6	25.6	(29)	(30)	H33
		（単位当たりコスト） [うち事業拡大分]	(798千円)	(922千円)	(510千円)	(495千円)	
		達成率（見込）	115.7%	91.4%	(100.0%)	(100.0%)	
	[]	目標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト） [うち事業拡大分]					
		達成率（見込）					
	評価	<p>・兵庫県特別支援学校技能検定について、平成27年度から作業部会を立ち上げ、ビルクリーニング部門と喫茶サービス部門の認定資格を企業と共同開発した。平成28年度にはプレ検定、平成29年度から本格実施した。平成29年度には、新たに物流・品出し部門の認定資格を開発し、平成30年度にはプレ検定を行った。</p> <p>・早期からのキャリア教育と就職につながる実践的な学習を充実させることで、就労率を全国平均水準まで引き上げることを目指して取り組んだ。しかし、依然として低い状況であるため、引き続きキャリア教育を推進する。</p>					
3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班					
事業名	世界にはばたけ兵庫プロジェクト（平成19年度～）		連絡先	078-362-9446					
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	180,982 千円	180,594 千円	180,548 千円	180,548 千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	180,982 千円	180,594 千円	180,548 千円	180,548 千円			
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(180,982千円)	(180,594千円)	(180,548千円)	(180,548千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
			3,511 千円	3,616 千円	3,549 千円	3,563 千円			
		職員給与費 a	3,091 千円	3,137 千円	3,070 千円	3,084 千円			
		賞与引当金繰入額 b	182 千円	218 千円	218 千円	218 千円			
退職手当引当金繰入額 c		238 千円	261 千円	261 千円	261 千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	
		184,493 千円	184,210 千円	184,097 千円	184,111 千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
			国民体育大会天皇杯順位（男女総合成績）	目 標	8	8		8	8
	（スポーツ推進計画）	実績（見込）	11	12	10	(8)			
		（単位当たりコスト）							
		[うち事業拡大分]							
		達成率（見込）	(72.7%)	(66.7%)	(80.0%)	(100.0%)			
	ジュニアスポーツ教室参加者数の増加	目 標	6,500	6,600	6,700	6,800			
		実績（見込）	7,524	7,536	(7,500)	(7,500)			
	（スポーツ推進計画）	（単位当たりコスト）	(25 千円)	(24 千円)	(25 千円)	(25 千円)			
		[うち事業拡大分]							
達成率（見込）		(115.8%)	(114.2%)	(111.9%)	(110.3%)				
評価	国民体育大会の男女総合成績及び女子総合成績は目標の8位を達成できなかったが、天皇杯では昨年の12位から2つ順位をあげ10位、また皇后杯では昨年と同様の9位（8位まで1点差）と継続的な選手強化の成果は出ている。またジュニアスポーツ等の教室参加者数は、年度目標を達成を果たしている。 引き続き、（公財）兵庫県体育協会及び競技団体と連携のもと、選手強化・育成、指導者養成に努める。								
	3年目の見直し								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 神戸マラソン 実行委員会事務局			
事業名	神戸マラソンの開催(平成23年度～)		連絡先	078-325-1430			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	67,800 千円	67,800 千円	67,800 千円	68,883 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	9,345 千円	9,345 千円	9,345 千円	9,345 千円	
		委託料	58,455 千円	58,455 千円	58,455 千円	58,455 千円	
		補助金・交付金					
		貸付金					
		その他需用費等				1,083 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)					
		(県債)					
		(その他[])					
		(一般財源)	(67,800千円)	(67,800千円)	(67,800千円)	(68,883千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人
			70,192 千円	72,296 千円	70,968 千円	71,232 千円	
職員給与費 a		61,808 千円	62,728 千円	61,400 千円	61,664 千円		
賞与引当金繰入額 b		3,640 千円	4,360 千円	4,360 千円	4,360 千円		
退職手当引当金繰入額 c		4,744 千円	5,208 千円	5,208 千円	5,208 千円		
総コスト (①+②)	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	従事人員	8.0人	
		137,992 千円	140,096 千円	138,768 千円	140,115 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
			ランナーエントリー者数	目標	20,000	20,000	
		実績(見込)	75,097	74,616	(74,851)	(74,900)	/
		(単位当たりコスト)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	(2千円)	
		[うち事業拡大分]					
		達成率(見込)	375.5%	373.1%	(374.3%)	(374.5%)	
	ボランティア参加者数	目標	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		実績(見込)	7,264	7,071	(6,808)	(7,200)	/
		(単位当たりコスト)	(19千円)	(20千円)	(20千円)	(19千円)	
	[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)	96.9%	94.3%	(94.6%)	(100.0%)		
評価	<p>・事業目的の達成度を示す指標を概ね達成できている。 ・ボランティア参加者数については、平成30年度に目標数を見直した。参加者数は減少しているが、毎年ボランティアとして参加している方(リピーター)が増加しており、ボランティアのノウハウが向上したため、余分にボランティアを配置する必要がなくなり、適正数の配置が可能となってきている。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班					
事業名	「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業（平成26年度～）		連絡先	078-362-9446					
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	7,476千円	7,476千円	7,263千円	7,783千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料	5,874千円	5,874千円	5,716千円	6,236千円			
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等	1,602千円	1,602千円	1,547千円	1,547千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(7,476千円)	(7,476千円)	(7,263千円)	(7,783千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,633千円	2,713千円	2,663千円	2,673千円			
		職員給与費 a	2,318千円	2,353千円	2,303千円	2,313千円			
		賞与引当金繰入額 b	137千円	164千円	164千円	164千円			
退職手当引当金繰入額 c		178千円	196千円	196千円	196千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		10,109千円	10,189千円	9,926千円	10,456千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[530千円]				
事業目的の達成度を示す指標	「関西マスターズスポーツフェスティバル」の大会数	指標	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		実績（見込）	65	66	(63)	(80)			
		（単位当たりコスト）	(156千円)	(154千円)	(158千円)	(131千円)			
		[うち事業拡大分]							
	「関西マスターズスポーツフェスティバル」の競技者・参加者数	指標	100.0%	94.3%	(84.0%)	(100.0%)			
		実績（見込）	16,500	17,700	18,800	19,900			
		実績（見込）	16,467	15,212	(14,500)	(19,900)			
		達成率（見込）	99.8%	85.9%	(77.1%)	(100.0%)			
評価	<p>・一般県民に対し生涯スポーツに親しむ機会を数多く提供するとともに、本県開催競技の周知に向けた広報活動を展開するなど「ワールドマスターズゲームズ2021関西」に向けた機運醸成を図るのに有効である。</p> <p>・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の各府県市開催競技が平成28年度に決定したことに伴い、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が行う広報と連携し、本県開催競技を中心とした関西マスターズスポーツフェスティバルの広報を行うことで、更なる県民のスポーツ参加機会の増大を図るなど事業の効率化を図る。</p> <p>・大会数、参加者数は、悪天候等による大会中止があり、目標をやや達成できなかった。今後も引き続き、本事業の広報を積極的に行い、参加者数の増加につなげる。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業（H30～）			連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①				15,000 千円	15,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金			15,000 千円	15,000 千円		
		貸付金						
		その他需用費等						
	(財源内訳)	(国庫支出金)						
		(県債)						
		(その他[特定財源])			(15,000千円)	(15,000千円)		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員		従事人員	0.3人	従事人員
		0 千円	0 千円	2,662 千円	2,671 千円			
職員給与費 a					2,303 千円	2,312 千円		
賞与引当金繰入額 b					164 千円	164 千円		
退職手当引当金繰入額 c					195 千円	195 千円		
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員		従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			0 千円	0 千円	17,662 千円	17,671 千円		
	[うち事業拡大分]		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	地域企業及び大学とSC21との連携チームやWMG2021関西大会開催団体競技の新チーム等の設立数	目 標			75	100	100	
		実績(見込)			(50)	(100)		
		(単位当たりコスト)			(353 千円)	(177 千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)			(66.7%)	(100.0%)			
	[]	目 標						
		実績(見込)						
(単位当たりコスト)								
[うち事業拡大分]								
達成率(見込)								
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通じて、ワールドマスターズゲームズ2021関西への県民の参加促進及び、大会の認知度向上を図る。 ・本事業の認知度がまだまだ低いため、さらなる参加促進に向け、積極的な広報を図るなど各クラブへの周知を徹底する。 							
	3年目の見直し							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	スポーツ振興課 国際広域スポーツ班			
事業名	東京オリンピック・パラリンピック応援事業 (H27年度～)		連絡先	078-362-9412			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	2,242 千円	9,855 千円	10,379 千円	17,536 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		委託料	468 千円	9,175 千円	9,487 千円	12,716 千円	
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他需用費等	1,774 千円	680 千円	892 千円	4,820 千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(その他[])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
		(一般財源)	(2,242千円)	(9,855千円)	(10,379千円)	(17,536千円)	
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.4人	0.4人	0.8人	1.2人	
			3,511 千円	3,616 千円	7,097 千円	10,686 千円	
職員給与費 a		3,091 千円	3,137 千円	6,140 千円	9,250 千円		
賞与引当金繰入額 b		182 千円	218 千円	436 千円	654 千円		
退職手当引当金繰入額 c		238 千円	261 千円	521 千円	782 千円		
総コスト (①+②) [うち事業拡大分]	従事人員	0.4人	0.4人	0.8人	1.2人		
		5,753 千円	13,471 千円	17,476 千円	28,222 千円		
		[0千円]	[0千円]	[0千円]	[10,746千円]		
事業目的の達成度を示す指標	県内施設を活用した事前合宿実施に向けた視察受入国(チーム)数	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【2020年度】
		目標		4	8	10	10カ国
		実績(見込)		4	(8)	(9)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]		(3,368 千円)	(2,185 千円)	(3,136 千円)	
	達成率(見込)		100.0%	(100.0%)	(90.0%)		
	事前合宿時に実施した交流事業の参加人数	目標			200	2,000	2,000人
		実績(見込)			(200)	(2,000)	
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]			(87 千円)	(14 千円)	
達成率(見込)				(100.0%)	(100.0%)		
評価	<p>・国際レベルのアスリートが参加する大会や合宿は、県のスポーツ振興や地域の活性化などの成果を上げるとともに、その活力を翌年のワールドマスターズゲーム2021関西の成功につなげるため、本事業は有効である。</p> <p>・県内市町の競技施設や宿泊・観光施設等を5カ国語(日・英・仏・中・ポルトガル語)で紹介したホームページやパンフレットを有効に活用し、県、市町の姉妹・友好連携州・都市等への働きかけや本県ゆかりのアスリートやスポーツ有識者を通じた効果的、効率的な招致活動を展開する。</p> <p>・関東圏を中心に、事前合宿招致に取り組んでおり全国各地の自治体が競合状態になっていることに加え、国や競技種目によって合宿の検討を開始する時期は様々であることから、締結時期等を見込むのは困難であるが、本県の優位性を積極的にPRし、早期の事前合宿協定締結の実現に努める。</p>						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班				
事業名	未来のスーパーアスリート支援事業（平成26年度～）			連絡先	078-362-9446				
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①		45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円			
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円	45,500 千円			
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(45,500千円)	(45,500千円)	(45,500千円)	(45,500千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
			3,511 千円		3,616 千円		3,549 千円		3,563 千円
		職員給与費 a	3,091 千円		3,137 千円		3,070 千円		3,084 千円
		賞与引当金繰入額 b	182 千円		218 千円		218 千円		218 千円
退職手当引当金繰入額 c		238 千円		261 千円		261 千円		261 千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	
		49,011 千円		49,116 千円		49,049 千円		49,063 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	国内外で活躍する本県選手数（オリンピック等国際大会の出場者及び全日本選手権等全国大会の優勝・準優勝者） （スポーツ推進計画）	目 標	500	520	540	560	平成33年度 600人		
		実績（見込）	415	400	(481)	(560)			
		（単位当たりコスト） [うち事業拡大分]	(118 千円)	(123 千円)	(102 千円)	(88 千円)			
		達成率（見込）	83.0%	76.9%	(89.1%)	(100.0%)			
評価	対象選手の、オリンピックや世界選手権等の国際大会に向けた強化計画も具体化しており全国大会等での成績も安定している。リオデジャネイロオリンピックには全体で337名の選手が出場したが、そのうち、本県ゆかりの選手が23名と約7%を占めている。今後もオリンピック選手輩出につながる選手育成に努める。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	スポーツ振興課 競技・生涯スポーツ班			
事業名	ひょうご女性スポーツの会（平成30年度～）			連絡先	078-362-9446			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①			2,000 千円	5,000 千円			
	経費内訳	報酬・賃金			310 千円			
		委託料						
		補助金・交付金				5,000 千円		
		貸付金						
		その他需用費等			1,690 千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）						
		（県債）						
		（その他[]）						
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(2,000千円)	(5,000千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員	0.4人	従事人員
		0 千円		0 千円		3,549 千円		3,563 千円
職員給与費 a				3,070 千円	3,084 千円			
賞与引当金繰入額 b				218 千円	218 千円			
退職手当引当金繰入額 c				261 千円	261 千円			
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員	0.4人	従事人員	0.4人
		0 千円		0 千円		5,549 千円		8,563 千円
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[3,014千円]
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	ひょうご女性スポーツの会 加盟団体数	目標			13	14	平成33年度	
		実績（見込）			(13)	(14)	16団体	
		（単位当たりコスト）			(427 千円)	(612 千円)		
〔うち事業拡大分〕								
	達成率（見込）			(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>平成30年12月15日にひょうご女性スポーツの会が設立した。今後は以下の3事業に取り組みながら、加盟団体数や会員数の増加を図る。</p> <p>①スポーツにおける女性特有の課題解決に向けた取り組みとしての研修会の開催</p> <p>②「ひょうご女性スポーツの会」冠称大会としての各競技別大会の実施</p> <p>③ワールドマスターズゲームズ2021関西等への女性参加促進に向けて競技横断的な競技体験会の実施</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」		所管課班	社会教育課施設・管理班			
事業名	県立美術館の元気づくり事業（平成19年度～）		連絡先	078-362-9434			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	7,730 千円	7,492 千円	7,280 千円	7,280 千円		
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金					
		貸付金					
		その他需用費等	7,730 千円	7,492 千円	7,280 千円	7,280 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）					
		（県債）					
		（その他〔美術館使用料等〕）	(5,570千円)	(5,570千円)	(5,570千円)	(5,570千円)	
		（一般財源）	(2,160千円)	(1,922千円)	(1,710千円)	(1,710千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人
			2,633 千円	2,711 千円	2,662 千円	2,671 千円	
		職員給与費 a	2,318 千円	2,352 千円	2,303 千円	2,312 千円	
		賞与引当金繰入額 b	137 千円	164 千円	164 千円	164 千円	
退職手当引当金繰入額 c		178 千円	195 千円	195 千円	195 千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	従事人員	0.3人	
		10,363 千円	10,203 千円	9,942 千円	9,951 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
	KEN-VI文化セミナー入場者数	目 標	400	400	400	400	400
		実績（見込）	391	733	(854)	(400)	
		（単位当たりコスト）	(27 千円)	(14 千円)	(12 千円)	(25 千円)	
		[うち事業拡大分]					
	達成率（見込）	97.8%	183.3%	(213.5%)	(100.0%)		
	学校関係団体等の入場者数	目 標	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
		実績（見込）	11,312	13,373	(13,538)	(13,000)	
		（単位当たりコスト）	(1 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	
		[うち事業拡大分]					
達成率（見込）	87.0%	102.9%	(104.1%)	(100.0%)			
評 価	「KEN-VI文化セミナー」「学校関係団体等」の入場者数は徐々に増加しており、事業実施効果が高くなっている。引き続き、子どもたちや美術に関心の薄い層に美術に親しむ機会をつくることにより、将来的に芸術文化に興味を持ってもらえるようにすることを重要視し、目標の達成に向けて継続的に取り組んでいく。						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	社会教育課施設・管理班				
事業名	篠山層群化石を活用した地域活性化の推進（平成18年度～）			連絡先	078-362-9434				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	4,105千円	19,130千円	18,550千円	18,550千円				
	経費内訳	報酬・賃金		14,408千円	14,340千円	14,340千円			
		委託料							
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等	4,105千円	4,722千円	4,210千円	4,210千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(4,105千円)	(19,130千円)	(18,550千円)	(18,550千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人
			878千円	904千円	888千円	891千円			
		職員給与費 a	773千円	784千円	768千円	771千円			
賞与引当金繰入額 b		46千円	55千円	55千円	55千円				
退職手当引当金繰入額 c		59千円	65千円	65千円	65千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
		4,983千円	20,034千円	19,438千円	19,441千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	ボランティア人材の登録数（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標における指標）	目標	—	15	33	50	合計100名【2026年度】		
		実績（見込）	—	26	(56)	(73)			
		達成率（見込）	—	173.3%	169.7%	146.0%			
評価	<p>・化石の剖出作業には熟練した技術が必要であり、篠山層群化石の調査・研究を推進していくためには、更なる人材の育成が不可欠となっている。また、事業の活性化を図る上で、ボランティアの参画は重要であるが、育成・活用する仕組みがさらに重要であり、今後もこれらの仕組みの構築を目指していく。</p> <p>・予想を上回るボランティアの登録があり順調ではあるが、化石の剖出にあたっては、人材育成には多くの時間がかかるため、研修システムの見直しを図るなど効率的で安定した事業を推進していく。</p> <p>・今後も篠山層群化石の調査研究とともに活用を進めるには、ボランティア人材の参画が不可欠であることから、登録者数を指標とすることで、ボランティア人材を安定的に育成・活用できる体制づくりを構築する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	個性を生かした地域の自立と地域間連携元気を生み出す		所管課班	文化財課文化財班				
施策名	地域の歴史・文化、伝統芸能などの継承と情報発信の推進							
事業名	ひょうごの歴史研究推進(平成27年度～)		連絡先	078-362-3784				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	11,688千円	11,288千円	11,763千円	11,763千円			
	経費内訳	報酬・賃金	7,257千円	7,270千円	7,168千円	7,186千円		
		委託料						
		補助金・交付金	220千円	220千円	700千円	220千円		
		貸付金						
		その他需用費等	4,211千円	3,798千円	3,895千円	4,357千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)						
		(県債)						
		(その他[])						
		(一般財源)	(11,688千円)	(11,288千円)	(11,763千円)	(11,763千円)		
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人		
			7,019千円	7,230千円	7,097千円	7,123千円		
		職員給与費 a	6,181千円	6,273千円	6,140千円	6,166千円		
賞与引当金繰入額 b		364千円	436千円	436千円	436千円			
退職手当引当金繰入額 c		474千円	521千円	521千円	521千円			
総コスト(①+②)	従事人員	0.8人	0.8人	0.8人	0.8人			
		18,707千円	18,518千円	18,860千円	18,886千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[475千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		公開講座等の参加のべ人数	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	/
			実績(見込)	542	680	(800)	(1,000)	
			(単位当たりコスト)	(35千円)	(27千円)	(24千円)	(19千円)	
		[うち事業拡大分]						
		達成率(見込)	54.2%	68.0%	(80.0%)	(100.0%)		
	「次回も公開講座に参加したい」と回答した参加者の割合	目標	80%	80%	80%	80%	/	
		実績(見込)	78%	80%	80%	80%		
		(単位当たりコスト)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)	97.5%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<p>・播磨地域だけでなく、活動対象を淡路にまで広げ、広域的な調査研究を展開すると共に、淡路島日本遺産委員会と連携することで地域振興、観光振興に活用することができている。</p> <p>・これまで同様、歴史博物館、考古博物館のほか、大学の研究者、市町文化財担当者に調査研究を委嘱することで事業コストの削減を図ってきたが、今年度はさらに島根県と連携することで、さらに広域的な事業を効率的に行うことができています。</p> <p>・公開講座等への参加のべ人数は徐々に増加しており、内容も好評で、南あわじ市や宍粟市などの地方での実施により、地域に根ざした調査研究の公開と、地域文化遺産の見直しに貢献することができた。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	充実する「自分時間」			所管課班	文化財課文化財班			
事業名	松帆銅鐸等埋蔵文化財を活用した地域振興への積極的支援			連絡先	078-362-3784			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	6,172 千円	6,844 千円	5,996 千円				
	経費内訳	報酬・賃金			1,685 千円			
		委託料	2,432 千円	3,344 千円	2,455 千円			
		補助金・交付金	3,500 千円	3,500 千円	1,750 千円			
		貸付金						
		その他需用費等	240 千円		106 千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(1,000千円)	(1,672千円)	(2,123千円)			
		(県債)						
		(その他[])						
		(一般財源)	(5,172千円)	(5,172千円)	(3,873千円)	(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員		
			878 千円	904 千円	888 千円	0 千円		
		職員給与費 a	773 千円	784 千円	768 千円			
		賞与引当金繰入額 b	46 千円	55 千円	55 千円			
退職手当引当金繰入額 c		59 千円	65 千円	65 千円				
総コスト (①+②)	従事人員	0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員			
		7,050 千円	7,748 千円	6,884 千円	0 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名 博物館の入場者のべ人数	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目標	1,000	1,000	1,000	—		
		実績(見込)	3,258	2,974	(3,000)	—		
		(単位当たりコスト)	(2 千円)	(3 千円)	(2 千円)	#VALUE!		
		[うち事業拡大分]						
達成率(見込)	325.8%	297.4%	(300.0%)	#VALUE!				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・松帆銅鐸の出土地域の特定が進むとともに、銅鐸が製作された時期が判明するなどしており、着実にその価値は高まりつつある。 ・研究成果等の発表により、広くその情報が全国に発信されている。 ・現在銅鐸は研究機関で調査中であり、レプリカの展示となっているが、その人気は安定しており、今後実物を展示することにより、更なる入場者が期待でき、地域振興にも繋がっていくと考えられる。 							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	体育保健課学校体育班			
事業名	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（平成29年度～）			連絡先	078-362-3787			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	—	167 千円	4,082 千円	6,824 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	—	0 千円	1,730 千円	3,610 千円		
		委託料	—	0 千円	786 千円	1,736 千円		
		補助金・交付金	—	0 千円	0 千円	0 千円		
		貸付金	—	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	—	167 千円	1,566 千円	1,478 千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	(167千円)	(4,082千円)	(6,824千円)		
		（県債）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人		
			0 千円	1,980 千円	886 千円	889 千円		
		職員給与費 a		784 千円	767 千円	770 千円		
		賞与引当金繰入額 b		545 千円	54 千円	54 千円		
退職手当引当金繰入額 c			651 千円	65 千円	65 千円			
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人			
		0 千円	2,147 千円	4,968 千円	7,713 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[1,014千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		オリンピック・パラリンピック教育推進校数	目 標	—	3	13	19	19
		実績（見込）	—	3	(13)		H31	
		(単位当たりコスト)	#VALUE!	(716 千円)	(382 千円)	#DIV/0!		
		[うち事業拡大分]						
		達成率（見込）	#VALUE!	100.0%	(100.0%)	(0.0%)		
		目 標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)						
		[うち事業拡大分]						
	達成率（見込）							
評価	<p>・児童生徒がオリンピック・パラリンピック選手等のトップアスリートの技術や経験、人間的な魅力に触れることにより、スポーツに親しむ態度や規範意識の涵養、ノーマライゼーションや国際理解の促進などを図る。</p> <p>・各地区の小学校・中学校・高等学校に教育推進校を指定し、学校の実情やニーズに応じてテーマを選択し本県ゆかりのオリンピック・パラリンピアンを学校が指導する内容に応じて派遣できるよう支援するとともに、オリンピック・パラリンピック教育を全県展開し、オリンピック・パラリンピックにむけて機運醸成を図る。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	体育保健課学校体育班			
事業名	「体カアップひょうご」サポート事業（平成24年度～）				連絡先	078-362-3787			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	5,976千円		5,939千円		5,687千円		5,705千円	
	経費内訳	報酬・賃金	1,649千円		1,624千円		1,642千円		1,675千円
		委託料	900千円		1,000千円		1,000千円		1,000千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	3,427千円		3,325千円		3,045千円		3,030千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(5,976千円)		(5,939千円)		(5,687千円)		(5,705千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			876千円		903千円		886千円		889千円
		職員給与費 a	772千円		784千円		767千円		770千円
		賞与引当金繰入額 b	45千円		54千円		54千円		54千円
退職手当引当金繰入額 c		59千円		65千円		65千円		65千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		6,852千円		6,842千円		6,573千円		6,594千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	50	50	50	50			
	昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合(22項目)	実績（見込）	27	32	(50)	(50)			
		(単位当たりコスト)	(251千円)	(215千円)	(131千円)	(132千円)			
	[うち事業拡大分]								
	達成率（見込）	54.6%	63.6%	(100.0%)	(100.0%)				
	体カアップサポーター派遣校数	目 標	255	325	395	465			
		実績（見込）	253	315	(386)	(465)			
(単位当たりコスト)	(27千円)	(22千円)	(17千円)	(0千円)					
[うち事業拡大分]									
達成率（見込）	99.2%	96.9%	(97.7%)	(100.0%)					
評価	<p>教科書がない小学校体育において、専門性に優れた地域の指導者を活用し児童の運動習慣を図るとともに、教員の指導力を向上させていく必要がある。また、県内児童生徒の体力・運動能力について引き続き検証するため、調査・分析を実施する必要がある。</p> <p>昭和60年頃の子どもの体力水準に達している項目の割合については、特に小学校の達成項目が低く、スポーツ推進計画に示している目標値には届いていないが、少しずつではあるが年々上昇している。今後、体カアップサポート派遣校の実践を周知させるとともに、体カアップサポーターに体力向上にむけた準備運動等を普及するなど、小学生の体力向上を図る。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	自然学校推進事業（昭和63年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	356,642 千円		353,995 千円		355,466 千円		352,840 千円	
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	356,642 千円		353,995 千円		355,466 千円		352,840 千円
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(356,642千円)		(353,995千円)		(355,466千円)		(352,840千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,774 千円		9,037 千円		8,871 千円		8,904 千円
		職員給与費 a	7,726 千円		7,841 千円		7,675 千円		7,708 千円
		賞与引当金繰入額 b	455 千円		545 千円		545 千円		545 千円
退職手当引当金繰入額 c		593 千円		651 千円		651 千円		651 千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		365,416 千円		363,032 千円		364,337 千円		361,744 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	自然学校実施校数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目標	755	752	749	748			
		実績(見込)	755	752	(749)	(748)			
		(単位当たりコスト)	(484 千円)	(483 千円)	(486 千円)	(484 千円)			
		[うち事業拡大分]							
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	地域と協働してふるさとの自然の良さに気づく学習プログラムを実施した学校の割合(21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	95	100	100	100			
		実績(見込)	85	95	(100)	(100)			
		(単位当たりコスト)	(4,309 千円)	(3,813 千円)	(3,643 千円)	(3,617 千円)			
		[うち事業拡大分]							
達成率(見込)	89.3%	95.2%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	節目に検討委員会を設けてコスト面も含めて評価を行っている。また、実施にあたっては、事前・事後活動の充実やキャリア教育の視点からの見直しなど改善を図りながら、効率的に事業を推進している。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	環境体験事業（平成19年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	91,293 千円		90,618 千円		89,886 千円		88,941 千円	
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	91,293 千円		90,618 千円		89,886 千円		88,941 千円
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(91,293千円)		(90,618千円)		(89,886千円)		(88,941千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,774 千円		9,037 千円		8,871 千円		8,904 千円
		職員給与費 a	7,726 千円		7,841 千円		7,675 千円		7,708 千円
		賞与引当金繰入額 b	455 千円		545 千円		545 千円		545 千円
退職手当引当金繰入額 c		593 千円		651 千円		651 千円		651 千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		100,067 千円		99,655 千円		98,757 千円		97,845 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	体験型環境学習実施校数（地域創生戦略推進に係るアクションプラン）	目 標	756	752	749	748			
		実績（見込）	756	752	(749)	(748)			
		（単位当たりコスト）	(132 千円)	(133 千円)	(132 千円)	(131 千円)			
		[うち事業拡大分]							
	達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	地域と協働してふるさとの自然の良さに気づく学習プログラムを実施した学校の割合（21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標）	目 標	95	100	100	100			
		実績（見込）	85	95	(100)	(100)			
		（単位当たりコスト）	(1,180 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)			
		[うち事業拡大分]							
達成率（見込）	89.3%	95.2%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	学校の身近な場所での活動支援のため、県民局や関係機関と連携し、学校の要望に応じた多様なボランティアや地域の支援者の紹介や、テーマ別プログラムの開発等を行うなど、実施に係るコスト面の効率化を図っている。								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	義務教育課初等・中学校教育班 高校教育課生徒指導班			
事業名	「兵庫型体験教育」を通じた”ふるさと意識”の醸成			連絡先	078-362-3772 (義務) 078-362-3778 (高校)			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	350,992 千円	351,560 千円	358,799 千円	371,152 千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料	10,530 千円	10,517 千円	15,681 千円	4,849 千円		
		補助金・交付金	298,343 千円	298,826 千円	316,358 千円	304,211 千円		
		貸付金						
		その他需用費等	42,119 千円	42,217 千円	26,760 千円	62,092 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)						
		(県債)						
		(その他[地域振興基金])	(129,510千円)	(129,692千円)	(129,199千円)	(130,405千円)		
		(一般財源)	(221,482千円)	(221,868千円)	(229,600千円)	(240,747千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
			8,774 千円	9,037 千円	8,871 千円	8,904 千円		
		職員給与費 a	7,726 千円	7,841 千円	7,675 千円	7,708 千円		
		賞与引当金繰入額 b	455 千円	545 千円	545 千円	545 千円		
退職手当引当金繰入額 c		593 千円	651 千円	651 千円	651 千円			
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
		359,766 千円	360,597 千円	367,670 千円	380,056 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[33,900千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	トライやる・ウィークの公立中学校の実施割合(全県ビジョン推進方策フォローアップ指標)	目 標	100	100	100	100		
		実績(見込)	100	100	(100)	(100)		
		(単位当たりコスト)	(3,598 千円)	(3,606 千円)	(3,677 千円)	(3,801 千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	高校生ふるさと貢献活動に取り組んだ県立高等学校数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目 標	147	147	147	147		
		実績(見込)	147	147	(147)	(147)		
		(単位当たりコスト)	(2,447 千円)	(2,453 千円)	(2,501 千円)	(2,585 千円)		
		[うち事業拡大分]						
達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
評 価	地域の教育力の低下や子どもの自然体験、社会体験の不足が指摘されている中、生徒一人一人が地域社会の一員としての自覚や態度を醸成し、豊かな人間性の涵養を図るため、生徒の発達段階に応じた体系的な兵庫型「体験教育」の充実を図っていく必要がある。							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課高校教育改革班			
事業名	県立高校の特色化の推進				連絡先	078-362-3817			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	74,250千円		74,250千円		74,250千円		74,250千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	74,250千円		74,250千円		74,250千円		74,250千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(74,250千円)		(74,250千円)		(74,250千円)		(74,250千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人
			8,774千円		9,037千円		8,871千円		8,904千円
		職員給与費 a	7,726千円		7,841千円		7,675千円		7,708千円
		賞与引当金繰入額 b	455千円		545千円		545千円		545千円
退職手当引当金繰入額 c		593千円		651千円		651千円		651千円	
総コスト (①+②)	従事人員	0.5人		0.5人		0.5人		0.5人	
		83,024千円		83,287千円		83,121千円		83,154千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	県立高校特色づくり推進事業実施校数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目標	147校	147校	147校	147校	147校		
		実績(見込)	147校	147校	(147校)	(147校)			
		(単位当たりコスト)	(565千円)	(567千円)	(565千円)	(566千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
達成率(見込)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
評価	<p>・生徒・保護者の高校選択のニーズの変化などを踏まえ、生徒一人一人が自らの良さや可能性を見つけ、充実感をもって自己実現が図れるよう各学校の特色に応じた教育環境を推進する必要がある、魅力ある学校づくりを通じて将来の兵庫県を担う人材の育成に有効である。</p> <p>・各校からの研究内容の提案を十分精査し予算配分を行うなど、コスト面での工夫を図るとともに、生徒が魅力を感じる教育内容を展開するため創意工夫を促し、各校の魅力・特色づくりにつなげる。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班				
事業名	学習支援ツール活用モデル事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3771				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額		
	事業費①	7,500 千円		10,176 千円		7,920 千円		3,744 千円		
	経費内訳	報酬・賃金								
		委託料	7,500 千円		10,176 千円		7,920 千円		3,744 千円	
		補助金・交付金								
		貸付金								
		その他需用費等								
	（財源内訳）	（国庫支出金）								
		（県債）								
		（その他[]）								
		（一般財源）	(7,500千円)		(10,176千円)		(7,920千円)		(3,744千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		8,774 千円		9,037 千円		8,871 千円		8,904 千円		
職員給与費 a		7,726 千円		7,841 千円		7,675 千円		7,708 千円		
賞与引当金繰入額 b		455 千円		545 千円		545 千円		545 千円		
退職手当引当金繰入額 c		593 千円		651 千円		651 千円		651 千円		
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人		
		16,274 千円		19,213 千円		16,791 千円		12,648 千円		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】			
		目標	8	8	8	8				
	「全国学力・学習状況調査」における学力調査(8科目)で全科目全国平均以上の科目数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	実績(見込)	7	6	(5)	(8)				
		(単位当たりコスト)	(2,325 千円)	(3,202 千円)	(3,358 千円)	(1,581 千円)				
		〔うち事業拡大分〕								
		達成率(見込)	87.5%	75.0%	(62.5%)	(100.0%)				
	学習支援ツール活用モデル事業実施市町数(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	4	9	9	5				
		実績(見込)	4	9	(9)	(5)				
		(単位当たりコスト)	(4,069 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)				
		〔うち事業拡大分〕								
達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)						
評価	1校あたりの補助額に上限を設けているものの、モデル市町の選定にあたっては、希望市町から企画提案書の提出を求め、最小の予算(経費)で最大の効果が得られるよう、コストを抑えた提案内容となっているか引き続き審査を実施する。目標の達成度については、本事業のねらいとしている学力の向上と学習意欲の向上に係る指標を用いている。モデル事業であるため、いずれの指標も県全体の結果にすぐに反映することは難しいと考えられるが、県教育委員会としても本事業を踏まえ、効果的な事例等についての周知を図る。									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	体育保健課学校体育班			
事業名	運動部活動活性化推進事業（平成29年度～）			連絡先	078-362-3787			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	—	11,784 千円	8,244 千円	34,441 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	—	6,122 千円	6,122 千円	33,408 千円		
		委託料	—	1,013 千円	434 千円	836 千円		
		補助金・交付金	—	3,034 千円	0 千円	197 千円		
		貸付金	—	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	—	1,615 千円	1,688 千円	0 千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—	(0千円)	(0千円)	(12,996千円)		
		（県債）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	—	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	—	(11,784千円)	(8,244千円)	(21,445千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人		
			0 千円	903 千円	886 千円	889 千円		
		職員給与費 a		784 千円	767 千円	770 千円		
		賞与引当金繰入額 b		54 千円	54 千円	54 千円		
退職手当引当金繰入額 c			65 千円	65 千円	65 千円			
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人			
		0 千円	12,687 千円	9,130 千円	35,330 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[197千円]			
事業目的の達成度を示す指標	中学校部活動指導員の配置人数(H29は外部指導者)	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		目 標	—			市町希望数		
		実績（見込）	—					
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]						
	達成率（見込）							
	高等学校部活動指導員の配置人数(H29、30は外部指導者)	目 標	55	55	55	55		
		実績（見込）	55	55	(55)	(55)		
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)		
達成率（見込）		100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校は平成30年度から、高等学校は次年度から指導者不足により専門的な技術指導を受けられない生徒のために、部活動指導員を配置する。（※中学校部活動指導員配置促進事業はH31より本事業と統合） ・ 中学校部活動指導員の配置を希望する市町のうち、地域の人材不足により部活動指導員の配置が困難な市町に限り、民間が行うICTを活用したオンラインによる遠隔技術指導を受けることで、指導に悩む部活動顧問をサポートするとともに、一人でも多くの生徒がスポーツを楽しみ、成長できる環境を整える。 ・ これらの取組により、正しい理解に基づく技術の向上や生徒の能力に応じた適切な練習法の導入、事故やけがの防止など「部活動の質的な向上」を図る。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班				
事業名	スーパーティーチャー派遣事業（平成21年度～）			連絡先	078-362-3771				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	13,454千円	13,578千円	13,693千円	13,693千円				
	経費内訳	報酬・賃金	13,454千円	13,578千円	13,693千円	13,693千円			
		委託料							
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）							
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(13,454千円)	(13,578千円)	(13,693千円)	(13,693千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			8,774千円	9,037千円	8,871千円	8,904千円			
	職員給与費 a	7,726千円	7,841千円	7,675千円	7,708千円				
	賞与引当金繰入額 b	455千円	545千円	545千円	545千円				
退職手当引当金繰入額 c	593千円	651千円	651千円	651千円					
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
		22,228千円	22,615千円	22,564千円	22,597千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	スーパーティーチャーの派遣述べ回数全小中学校数以上（21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標）	目標	851	846	843	843			
		実績（見込）	723	847	(843)	(843)			
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(31千円)	(27千円)	(27千円)	(27千円)			
		達成率（見込）	85.0%	100.1%	(100.0%)	(100.0%)			
		目標							
		実績（見込）							
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]							
		達成率（見込）							
	評価	平成28年度に事業の見直しを行い、配置人数を18人から12人に縮小したが、勤務期間を年間10ヶ月から11ヶ月に延長することにより、訪問体制の維持を図っている。 各教育事務所に設置する学力向上支援チーム会議を通じて、日頃より市町や学校と情報を共有し、課題に即応した派遣を行っており、実施コスト面での効率化を図っている。							
3年目の見直し		—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	高校教育課教育指導班			
事業名	外国人児童生徒のための学習支援事業 ①高等学校特別入学実施校事業			連絡先	078-362-9444			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	11,955千円	11,994千円	12,020千円	29,135千円			
	経費内訳	報酬・賃金	10,471千円	10,509千円	10,547千円	26,460千円		
		委託料			0千円	0千円		
		補助金・交付金			0千円	0千円		
		貸付金			0千円	0千円		
		その他需用費等	1,484千円	1,485千円	1,473千円	2,675千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)			(0千円)	(0千円)		
		(県債)			(0千円)	(0千円)		
		(その他[])			(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(11,955千円)	(11,994千円)	(12,020千円)	(29,135千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			879千円	904千円	888千円	891千円		
		職員給与費 a	773千円	784千円	768千円	771千円		
		賞与引当金繰入額 b	46千円	55千円	55千円	55千円		
退職手当引当金繰入額 c		60千円	65千円	65千円	65千円			
総コスト (①+②)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		12,834千円	12,898千円	12,908千円	30,026千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[17,115千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	特別枠を設置する県立高校に入学し、支援を受けた生徒数 (地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目標	9	9	9	15	15	
		実績(見込)	7	8	(9)	(15)		
		(単位当たりコスト)	(1,833千円)	(1,612千円)	(1,434千円)	(2,002千円)		
		[うち事業拡大分]				[801千円]		
	達成率(見込)	77.8%	88.9%	(100.0%)	(100.0%)			
	特別枠を設置する県立高校の日本語指導が必要な外国人生徒に対する外国語支援員の1週間当たりの指導時数	目標	54	54	54	80	80	
		実績(見込)	54	54	(57)	(80)		
		(単位当たりコスト)	(238千円)	(239千円)	(226千円)	(316千円)		
		[うち事業拡大分]				[95千円]		
達成率(見込)	100.0%	100.0%	(105.6%)	(100.0%)				
評価	<p>・学習意欲や学力を有するにもかかわらず日本語能力が十分ではないため、全日制高校に進学することが難しい外国人生徒の学習機会の充実が必要であり、外国人生徒の進路選択の幅を広げるための方策との一つとして有効である。</p> <p>・平成28年度からの3年間のモデル校3校において、入学後の外国人生徒に対する適切な支援体制のあり方について研究を行い、支援員等の効果的な配置方法を確立してきた。それらの成果を踏まえ、支援が必要な生徒や実施校の地域バランスを考えて実施校数を見直した(3校→5校)</p>							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系		未来に挑む人づくり		所管課班	人権教育課指導・事業班		
事業名		外国人児童生徒のための学習支援事業（平成28年度～）②		連絡先	078-362-3770		
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額	
	事業費①		6,468千円	6,359千円	6,368千円	6,406千円	
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金	4,065千円	4,571千円	5,988千円	6,006千円	
		貸付金					
		その他需用費等	2,403千円	1,788千円	380千円	400千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,156千円)	(2,119千円)	(2,122千円)	(2,135千円)	
		（県債）					
		（その他[]）					
		（一般財源）	(4,312千円)	(4,240千円)	(4,246千円)	(4,271千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
			879千円	906千円	889千円	892千円	
		職員給与費 a	773千円	785千円	768千円	771千円	
		賞与引当金繰入額 b	46千円	55千円	55千円	55千円	
退職手当引当金繰入額 c		60千円	66千円	66千円	66千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
		7,347千円	7,265千円	7,257千円	7,298千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		目 標	3	3	4	4	—
	日本語指導を必要とする外国人児童生徒が5名以上在籍する小中学校に支援員を派遣する市町数（地域創生戦略事業進捗指標）	実績（見込）	3	3	(3)	(3)	/
		（単位当たりコスト）	(2,449千円)	(2,422千円)	(2,419千円)	(2,433千円)	
		[うち事業拡大分]					
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(75.0%)	(75.0%)	
	目 標	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		目 標					
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）					
[うち事業拡大分]							
達成率（見込）							
評 価	<ul style="list-style-type: none"> 日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対し、日本語による日本語能力向上のための支援を行い、対象児童生徒の日本語能力が向上した。 事業実施を継続していく中で、顕著な実施効果が見られ、実施市町における支援員の派遣校数は増加している。 日本語指導支援推進校での取組の成果を先行事例としてまとめ、全県発信を行った。 派遣対象市町以外には、事業の周知が不十分であり、派遣市町数の増加には至らなかった。 各市町教委との連携により、指導者の指導力向上を図るとともに、日本語指導支援推進校における先行事例の検証を通じて、日本語指導方法の改善充実に取り組み、指導体制が確立しつつある。 						
3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	教職員課人事班			
事業名	教職員勤務時間適正化事業			連絡先	078-362-9424			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①			38,640千円	105,285千円			
	経費内訳	報酬・賃金			38,640千円	91,056千円		
		委託料			0千円	0千円		
		補助金・交付金			0千円	0千円		
		貸付金			0千円	0千円		
		その他需用費等			0千円	14,229千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)			(12,880千円)	(11,956千円)		
		(県債)			(0千円)	(0千円)		
		(その他[])			(0千円)	(0千円)		
(一般財源)		(0千円)	(0千円)	(25,760千円)	(93,329千円)			
人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人		
		0千円	0千円	889千円	892千円			
	職員給与費 a			768千円	771千円			
	賞与引当金繰入額 b			55千円	55千円			
	退職手当引当金繰入額 c			66千円	66千円			
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人		
		0千円	0千円	39,529千円	106,177千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[66,648千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	年休取得(教職員1人あたり)日数【県立】(第3期ひょうご教育創造プラン指標)(予定)	目標				10	10	10日以上
		実績(見込)			11.4	(11.4)	(11.4)	
		(単位当たりコスト)				(3,467千円)	(9,314千円)	
		[うち事業拡大分]					[5,846千円]	
	達成率(見込)				114.0%	114.0%		
	[]	目標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)						
		[うち事業拡大分]						
達成率(見込)								
評価	(県立学校) ・教員でなくても担える業務に対して、授業準備等を担うスクール・サポート・スタッフを県立学校6校にモデル的に配置し、その効果を検証してきた。その結果、一人当たり約30分/1日の縮減が図られた。 ・平成31年度からは、教職員が働き方改革に実感を今以上に意識できるよう、①授業準備等を担う業務支援員の配置、②留守番電話の導入、③長期休業期間における学校閉庁日の実施、④統合型校務支援システムの導入に取り組む。							
	(市町立学校) ・教員でなくても担える業務に対して、授業準備等を担うスクール・サポート・スタッフを市町立学校40校にモデル的に配置し、その効果を検証している。 ・平成31年度からは、①スクール・サポートスタッフの配置・検証の継続、②3市町をモデル地域において業務改善加速事業(外部専門家(企業コンサル)からの提案・助言による業務改善研究等)に取り組む。							
3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	教育企画課教育企画班			
事業名	高校における遠隔授業調査研究事業（平成30年度～）			連絡先	078-362-3779			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①			5,705千円	6,094千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金						
		貸付金						
		その他需用費等			5,705千円	6,094千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）						
		（県債）						
		（その他[]）						
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(5,705千円)	(6,094千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員
		0千円	0千円	0千円	0千円			
職員給与費 a								
賞与引当金繰入額 b								
退職手当引当金繰入額 c								
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員	
		0千円	0千円	5,705千円	6,094千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	遠隔授業を行った科目数	目標			1	3	4	
		実績（見込）			(2)	(3)	【32年度】	
		（単位当たりコスト）			(2,853千円)	(2,031千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率（見込）			(200.0%)	(100.0%)			
	[]	目標						
		実績（見込）						
		（単位当たりコスト）						
		[うち事業拡大分]						
達成率（見込）								
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔授業システムを活用した高校における遠隔授業の調査研究（H30～H32）を実施することで、小規模校における学校開設科目の拡大や習熟度別授業の充実など多様な学びを実現に向けた課題や成果を得ることができる。 ・H30年度は、遠隔授業システム（機器）の整備や、システムを活用した遠隔地2校（千種高校、和田山高校）において、数学、情報の授業及び生徒会交流活動を実施した。 							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系		未来に挑む人づくり		所管課班		高校教育課高校教育改革班		
事業名		スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業（平成26年度～）		連絡先		078-362-3898		
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	14,167千円	3,695千円	20,000千円	0千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	14,167千円	3,695千円	20,000千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(14,167千円)	(3,695千円)	(20,000千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人			
			8,774千円	9,037千円	8,871千円	0千円		
		職員給与費 a	7,726千円	7,841千円	7,675千円			
		賞与引当金繰入額 b	455千円	545千円	545千円			
退職手当引当金繰入額 c		593千円	651千円	651千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人				
		22,941千円	12,732千円	28,871千円	0千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	指定校数	目標	3校	1校	3校	0校		
		実績（見込）	3校	1校	(1校)	(0校)		
		(単位当たりコスト)	(1,043千円)	(579千円)	(1,312千円)	(0千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
	達成率（見込）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
	指定校数	目標						
		実績（見込）						
		(単位当たりコスト)						
		[うち事業拡大分]						
達成率（見込）								
評価	<p>・近年の科学技術の進展に伴い産業界で必要な専門知識や技術は高度化し、従来の産業分類を超えた複合的な産業が発展している。これに対応するため、職業教育を主とする学科において、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技術を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成に取り組み、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を進めることは有効である。</p> <p>・社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成とともに、生徒が適切な進路選択を行えるよう、地域の資源を活用しながら取組の充実を図ることができた。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系		未来に挑む人づくり			所管課班	高校教育課高校教育改革班			
事業名		高校生が考える県政150周年記念事業			連絡先	078-362-3817			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①		13,189千円	44,100千円	0千円				
	経費内訳	報酬・賃金			0千円	0千円			
		委託料			0千円	0千円			
		補助金・交付金			0千円	0千円			
		貸付金			0千円	0千円			
		その他需用費等		13,189千円	44,100千円	0千円			
	(財源内訳)	(国庫支出金)		(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(県債)		(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		(その他[地域創生基金])		(0千円)	(44,100千円)	(0千円)			
		(一般財源)	(0千円)	(13,189千円)	(0千円)	(0千円)			
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人				
			0千円	811千円	886千円	0千円			
		職員給与費 a		691千円	766千円				
		賞与引当金繰入額 b		55千円	55千円				
退職手当引当金繰入額 c			65千円	65千円					
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員 0.0人	従事人員 0.0人	従事人員				
		0千円	14,000千円	44,986千円	0千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		目 標		147校	147校		147校		
	高校生が考える県政150周年記念事業実施校数	実績(見込)		147校	(147校)		/		
		(単位当たりコスト)		(95千円)	(306千円)				
		[うち事業拡大分]		-	-				
		達成率(見込)		100.0%	100.0%				
		目 標					/		
		実績(見込)							
		(単位当たりコスト)							
		[うち事業拡大分]							
	達成率(見込)								
評価	<p>・兵庫県を支える人材づくりには、兵庫県あるいは地域への深い理解、地域等との連携による、コミュニケーション能力の向上等が必要であり、事業をとらして地域の歴史・産業・文化等と高校での学習を結び付けることが可能であり有効である。</p> <p>・各学校の特色ある取組に応じ、事業効果を高めるため、内容を十分精査し予算配分を行うなど、費用面の効率的運用を図るとともに、本格実施に向けた効果的な取組につなげる。</p> <p>・各高等学校において高校生ならではの視点による企画等を立案し、地域等に提案する取組を計画的に推進する。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		未来に挑む人づくり		所管課班		高校教育課高校教育改革班		
事業名		「ひょうごの達人」招聘事業（平成19年度～）		連絡先		078-362-3898		
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	7,441千円	7,441千円	7,460千円	7,460千円			
	経費内訳	報酬・賃金	7,441千円	7,441千円	7,460千円	7,460千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(7,441千円)	(7,441千円)	(7,460千円)	(7,460千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人		
			8,774千円	9,037千円	8,871千円	8,904千円		
		職員給与費 a	7,726千円	7,841千円	7,675千円	7,708千円		
		賞与引当金繰入額 b	455千円	545千円	545千円	545千円		
退職手当引当金繰入額 c		593千円	651千円	651千円	651千円			
総コスト（①+②）	従事人員	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人			
		16,215千円	16,478千円	16,331千円	16,364千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	実施校数 （地域創生戦略推進に係るアクションプラン）	目標	22校	22校	22校	22校	/	
		実績（見込）	22校	22校	(22校)	(22校)		
		（単位当たりコスト）	(737千円)	(749千円)	(742千円)	(744千円)		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—		
達成率（見込）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
評価	<p>・生徒の高度な資格取得やスキルアップの支援、教員の専門技術・技能の質的向上と教育力向上のために必要な事業であり、各分野の専門家を通して、職業学科を設置する高校と地域企業等との人材育成への相互理解や連携・信頼関係の構築に有効である。</p> <p>・専門家を招聘して技能伝承研修会を実施したり、優れた技能を有する社会人を特別非常勤講師（非常勤嘱託員）として採用することで人件費等コスト面の抑制を図っている。</p> <p>・各種資格取得や検定試験合格に向けた取組の充実が図られているが、更に専門性の高い資格取得等を目指せるよう、各分野の専門家の招聘を検討していく。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班		
事業名	スクールカウンセラー配置事業				連絡先	078-362-3773		
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	454,968 千円	462,322 千円	465,983 千円	465,983 千円			
	経費内訳	報酬・賃金	402,600 千円	410,160 千円	412,350 千円	412,350 千円		
		委託料	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		補助金・交付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		貸付金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他需用費等	52,368 千円	52,162 千円	53,633 千円	53,633 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(150,600千円)	(153,428千円)	(154,246千円)	(154,246千円)		
		(県債)			(0千円)	(0千円)		
		(その他[])			(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(304,368千円)	(308,894千円)	(311,737千円)	(311,737千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
			8,774 千円	9,037 千円	8,871 千円	8,904 千円		
		職員給与費 a	7,726 千円	7,841 千円	7,675 千円	7,708 千円		
		賞与引当金繰入額 b	455 千円	545 千円	545 千円	545 千円		
退職手当引当金繰入額 c		593 千円	651 千円	651 千円	651 千円			
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
		463,742 千円	471,359 千円	474,854 千円	474,887 千円			
	[うち事業拡大分]	[6,169千円]	[7,354千円]	[3,661千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	スクールカウンセラーの小学校への配置校数 (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目 標	120	127	130	130	全公立小学校への配置	
		実績(見込)	120	127	(130)	(130)		
		(単位当たりコスト)	(3,865 千円)	(3,711 千円)	(3,653 千円)	(3,653 千円)		
		[うち事業拡大分]	[51千円]	[58千円]	[28千円]	-		
	達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	不登校児童数の割合(小学校) (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目 標	0.47	0.55	H31.10公表予定	H32.10公表予定	全国平均(0.55)を下回る	
		実績(見込)	0.38	0.52	H31.10公表予定	H32.10公表予定		
		(単位当たりコスト)	(1,220,374 千円)	(906,460 千円)	-	-		
		[うち事業拡大分]	[16,760千円]	[14,142千円]				
達成率(見込)	123.7%	105.8%	-	-				
評価	いじめ等問題行動の未然防止や早期発見、早期解決を図るには、専門家による児童生徒の心の相談が必要である。学校においては、児童生徒に加え、保護者への支援や教職員への指導、助言等が行われ、教職員のカウンセリングマインドの向上等、相談体制の充実が図られている。100							
	3年目の見直し	—						

事務事業評価調書

施策体系		未来に挑む人づくり		所管課班		高校教育課生徒指導班				
事業名		高校生心のサポートシステム（平成13年度～）		連絡先		078-362-3778				
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額		
	事業費①	69,263千円		69,372千円		69,372千円		69,377千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	69,263千円		69,372千円		69,372千円		69,377千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[]）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(69,263千円)		(69,372千円)		(69,372千円)		(69,377千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
			878千円		904千円		886千円		891千円	
		職員給与費 a	773千円		784千円		766千円		771千円	
		賞与引当金繰入額 b	46千円		55千円		55千円		55千円	
退職手当引当金繰入額 c		59千円		65千円		65千円		65千円		
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人		
		70,141千円		70,276千円		70,258千円		70,268千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】			
		キャンパスカウンセラーの全県立高等学校への配置校数	目 標	147	147	147	147			
		実績（見込）	147	147	(147)	(147)				
		（単位当たりコスト）	(477千円)	(478千円)	(478千円)	(478千円)				
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)					
		目 標								
		実績（見込）								
		（単位当たりコスト）								
		[うち事業拡大分]								
	達成率（見込）									
評価	<p>・いじめや非行に係る加害及び被害生徒の立ち直りの支援、不登校生徒の再登校支援等、学校における様々な問題への対応について専門家の助言を得ながら、研究を進めていく必要はあるが、問題行動への対応や生徒の心のケアが図られる等、生徒の健全な育成に貢献している。</p> <p>・生徒の心身の健康問題の複雑化や多様化に伴い、各校の実情を踏まえ、全県立高校に効果的に配置することで、効率的な経費執行を図っている。</p>									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	学級経営指導員派遣事業				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	13,649 千円		13,727 千円		13,767 千円		13,776 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	10,488 千円		10,563 千円		10,680 千円		10,680 千円
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		その他需用費等	3,167 千円		3,164 千円		3,087 千円		3,096 千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(3,983千円)		(4,008千円)		(4,021千円)		(4,021千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(9,666千円)		(9,719千円)		(9,746千円)		(9,755千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,774 千円		9,037 千円		8,871 千円		8,904 千円
		職員給与費 a	7,726 千円		7,841 千円		7,675 千円		7,708 千円
		賞与引当金繰入額 b	455 千円		545 千円		545 千円		545 千円
退職手当引当金繰入額 c		593 千円		651 千円		651 千円		651 千円	
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		22,423 千円		22,764 千円		22,638 千円		22,680 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	学級経営指導員を派遣した学校数	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		目 標	521	472	455	444	2年目の教員が所属する学校数以上		
	実績(見込)	824	867	(910)	(444)				
	(単位当たりコスト)	(27 千円)	(26 千円)	(25 千円)	(51 千円)				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
	達成率(見込)	158.2%	183.7%	(200.0%)	(100.0%)				
	学級経営指導員が指導助言した回数	目 標	772	671	623	596	2年目の教員に1回以上		
	実績(見込)	1,642	1,781	(1,870)	(596)				
	(単位当たりコスト)	(14 千円)	(13 千円)	(12 千円)	(38 千円)				
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
達成率(見込)	212.7%	265.4%	(300.2%)	(100.0%)					
評価	若手教員の増加の反面、指導を担う教員が減少しており、若手教員を中心にいじめ対応など生徒指導の基盤となる学級経営の指導力向上を図る必要がある。そのため、教員OBを小・中学校に派遣し、優れた実践例の提示や学級経営に関する相談・助言により、若手教員の学級経営力、生徒指導力の向上が図ることができ、有効な事業である。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	市町スクールソーシャルワーカー配置補助			連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	23,616千円	36,408千円	45,920千円	57,667千円			
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円		
		補助金・交付金	23,616千円	36,408千円	45,920千円	57,667千円		
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円		
		その他需用費等	0千円	0千円	0千円	0千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(6,808千円)	(10,495千円)	(13,237千円)	(16,627千円)		
		(県債)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(その他[])	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(16,808千円)	(25,913千円)	(32,683千円)	(41,040千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人		
			8,774千円	9,037千円	8,871千円	8,904千円		
		職員給与費 a	7,726千円	7,841千円	7,675千円	7,708千円		
		賞与引当金繰入額 b	455千円	545千円	545千円	545千円		
退職手当引当金繰入額 c		593千円	651千円	651千円	651千円			
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
		32,390千円	45,445千円	54,791千円	66,571千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[12,792千円]	[9,512千円]	[11,747千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	スクールソーシャルワーカー配置校区数 (活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	72	39	29	33	全173中学校区への配置	
		実績(見込)	55	41	(42)	(35)		
		(単位当たりコスト)	(589千円)	(1,108千円)	(1,305千円)	(1,902千円)		
		[うち事業拡大分]	—	[312千円]	[226千円]	[336千円]		
	達成率(見込)	76.4%	105.1%	(144.8%)	(106.1%)			
	不登校生徒数の割合の減少(中学校) (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	3.14	3.38	H31.10公表予定	H32.10公表予定	全国平均(3.38)を下回る	
		実績(見込)	3.15	3.63	H31.10公表予定	H32.10公表予定		
		(単位当たりコスト)	(10,283千円)	(12,519千円)	—	—		
		[うち事業拡大分]	—	[3,524千円]	—	—		
達成率(見込)	99.7%	93.1%	—	—				
評価	児童生徒の心理的、情緒的課題や発達障害に係る課題、児童虐待等、学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、学校と外部福祉関係機関との連携、学校内におけるチーム体制の構築や保護者への支援等の必要がある。そのため、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格を有する者を配置して、児童生徒が置かれた環境に働きかけ、状況を改善・支援する本事業は有効である。							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	特別支援教育課教育推進班			
事業名	インクルーシブ教育システム推進事業（平成25年度～）				連絡先	078-342-3774（内線5726）			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	67,916千円		68,626千円		72,000千円		72,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	49,869千円		61,056千円		67,200千円		67,200千円
		委託料	4,737千円		4,737千円				
		補助金・交付金	9,482千円						
		貸付金							
		その他需用費等	3,828千円		2,833千円		4,800千円		4,800千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(26,775千円)		(26,342千円)		(24,000千円)		(24,000千円)
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(41,141千円)		(42,284千円)		(48,000千円)		(48,000千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人
			879千円		906千円		889千円		892千円
		職員給与費 a	773千円		785千円		768千円		771千円
		賞与引当金繰入額 b	46千円		55千円		55千円		55千円
退職手当引当金繰入額 c		60千円		66千円		66千円		66千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.1人		0.1人		0.1人		0.1人	
		68,795千円		69,532千円		72,889千円		72,892千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		個別の教育支援計画の引継割合	目標	88%	100%	100%	100%		
		実績（見込）	99%	98%	100%	100%			
		（単位当たりコスト）	(69,490千円)	(70,951千円)	(72,889千円)	(72,892千円)			
		[うち事業拡大分]							
		達成率（見込）	112.5%	98.0%	(100.0%)	(100.0%)			
	医療的ケアの必要な幼児児童生徒に対する看護師の配置割合（対象幼児児童生徒のいる学校全校に配置）	目標	15校	15校	15校	16校			
		実績（見込）	15校	15校	15校	16校			
		（単位当たりコスト）							
		[うち事業拡大分]							
	達成率（見込）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
評価	個別の教育支援計画の引継ぎについては、中学校から高等学校への引継ぎにおけるガイドラインを作成するとともに、効果的な活用について、研修や会議等で周知徹底を図っているところである。また、医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が安全に安心して学校生活を送るために、本事業は必要である。引き続き国庫補助を受けながら、継続していく。								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班			
事業名	ひょうごがんばりタイム～放課後における補充学習等推進事業～（平成26年度～）				連絡先	078-362-3771			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	65,400 千円		64,200 千円		75,756 千円		84,744 千円	
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金							
		貸付金							
		その他需用費等							
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(21,800千円)		(21,400千円)		(25,252千円)		(28,248千円)
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(43,600千円)		(42,800千円)		(50,504千円)		(56,496千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,774 千円		9,037 千円		8,871 千円		8,904 千円
		職員給与費 a	7,726 千円		7,841 千円		7,675 千円		7,708 千円
賞与引当金繰入額 b		455 千円		545 千円		545 千円		545 千円	
退職手当引当金繰入額 c		593 千円		651 千円		651 千円		651 千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		74,174 千円		73,237 千円		84,627 千円		93,648 千円	
	うち事業拡大分	[0千円]		[0千円]		[11,556千円]		[8,988千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		目 標	8	8	8	8			
	「全国学力・学習状況調査」における学力調査で全科目（8科目）全国平均以上の科目数（地域創生戦略推進に係るアクションプラン）	実績（見込）	7	6	(5)	(8)			
		（単位当たりコスト）	(10,596 千円)	(12,206 千円)	(16,925 千円)	(11,706 千円)			
		うち事業拡大分			[4,719千円]	[5,219千円]			
		達成率（見込）	87.5%	75.0%	(62.5%)	(100.0%)			
	目 標	目 標							
		実績（見込）							
		（単位当たりコスト）							
		うち事業拡大分							
	達成率（見込）								
評価	各市町に事業を委託しており、近隣の教員OB等の地域人材を活用するなど各市町が工夫して提案する方法で補充学習実施のための人材を確保することにより、コストの抑制につながっている。								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	兵庫版道徳教育副読本の配布				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	17,100 千円		17,100 千円		17,100 千円		17,100 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円
		その他需用費等	17,100 千円		17,100 千円		17,100 千円		17,100 千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(17,100千円)		(17,100千円)		(17,100千円)		(17,100千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,774 千円		9,037 千円		8,871 千円		8,904 千円
		職員給与費 a	7,726 千円		7,841 千円		7,675 千円		7,708 千円
		賞与引当金繰入額 b	455 千円		545 千円		545 千円		545 千円
退職手当引当金繰入額 c		593 千円		651 千円		651 千円		651 千円	
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		25,874 千円		26,137 千円		25,971 千円		26,004 千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	子どものふるさと意識を醸成するため、兵庫版道徳教育副読本を活用した年間時間(小学校)	目 標	6.0	6.0	6.0	6.0	6時間確保		
		実績(見込)	5.7	6.0	6.0	6.0			
		(単位当たりコスト)	(4,539 千円)	(4,356 千円)	(4,329 千円)	(4,334 千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	達成率(見込)	95.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)			
		目 標	6.0	6.0	6.0	6.0	6時間確保		
		実績(見込)	4.9	5.4	6.0	6.0			
		(単位当たりコスト)	(5,280 千円)	(4,840 千円)	(0 千円)	(0 千円)			
	[うち事業拡大分]	—	—	—	—				
(活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	達成率(見込)	81.7%	90.0%	(100.0%)	(100.0%)				

郷土に誇りを持ち、人と人とのつながりや自己の責任や義務、役割を自覚するなど、自己の生き方の拠り所となるような心に響く副読本の配布は、子どもたちは道徳教育として、保護者は家庭教育を、地域住民は地域の子育てを考える共通の教材として必要である。

3年目の見直し

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	義務教育課生徒指導班			
事業名	道徳教育推進事業				連絡先	078-362-3773			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	6,540千円		6,540千円		8,527千円		8,584千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	4,000千円		4,000千円		4,000千円		4,040千円
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	2,540千円		2,540千円		4,527千円		4,544千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(6,540千円)		(6,540千円)		(8,527千円)		(8,584千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[])	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
	人件費② (a+b+c)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,774千円		9,037千円		8,871千円		8,904千円
		職員給与費 a	7,726千円		7,841千円		7,675千円		7,708千円
		賞与引当金繰入額 b	455千円		545千円		545千円		545千円
退職手当引当金繰入額 c		593千円		651千円		651千円		651千円	
総コスト (①+②)	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		15,314千円		15,577千円		17,398千円		17,488千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[1,987千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	保護者・地域住民に対する兵庫版道徳教育副読本等を用いた授業公開を全学級で実施した学校の割合 (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	90	100	100	100	全学級での公開		
		実績(見込)	78.8	84.1	100.0	100.0			
		(単位当たりコスト)	(194千円)	(185千円)	(174千円)	(175千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	[20千円]	-			
	道徳教育推進担当研修の実施(参加した学校の割合) (21世紀兵庫長期ビジョンフォローアップ指標)	目標	100	100	100	100	公立全小中学校の参加		
		実績(見込)	100	100	(100)	(100)			
		(単位当たりコスト)	(153千円)	(156千円)	(174千円)	(175千円)			
[うち事業拡大分]		-	-	[20千円]	-				
達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	ひょうご教育創造プランに掲げる「豊かな心」の育成に向けて、兵庫版道徳教育副読本等を活用した「道徳科」を要とした道徳教育の充実を図る必要がある。推進地域による道徳教育の推進、実践研修の実施、実践研究のまとめの作成・配布により、各地域の取組を県内に広げることができる。								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり		所管課班	高校教育課教育指導班			
事業名	外国人による英語指導の充実（昭和62年度～）		連絡先	078-362-9447			
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	651,767 千円	652,179 千円	651,686 千円	653,040 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	467,778 千円	466,805 千円	467,025 千円	466,403 千円	
		委託料			0 千円	0 千円	
		補助金・交付金			0 千円		
		貸付金			0 千円	0 千円	
		その他需用費等	183,989 千円	185,374 千円	184,661 千円	186,637 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）					
		（県債）					
		（その他[]）	(170,106千円)	(171,618千円)	(171,833千円)	(172,575千円)	
		（一般財源）	(481,661千円)	(480,561千円)	(479,853千円)	(480,465千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人	0.4人	0.4人	0.4人	
			3,510 千円	3,615 千円	3,548 千円	3,562 千円	
		職員給与費 a	3,090 千円	3,136 千円	3,070 千円	3,083 千円	
		賞与引当金繰入額 b	182 千円	218 千円	218 千円	218 千円	
退職手当引当金繰入額 c		237 千円	260 千円	260 千円	260 千円		
総コスト（①+②）	従事人員			0.4人	0.4人		
		655,277 千円	655,794 千円	655,234 千円	656,602 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		外国人外国語指導助手指導校数	目 標	147	147	147	147
		実績（見込）	147	147	(147)	(147)	
		(単位当たりコスト)	(4,458 千円)	(4,461 千円)	(4,457 千円)	(4,467 千円)	
		[うち事業拡大分]					
		達成率（見込）	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)	
		目 標					
		実績（見込）					
		(単位当たりコスト)					
		[うち事業拡大分]					
	達成率（見込）						
評 価	<p>経済・社会等のグローバル化が進展する中、国際社会において地球的視野に立ち、主体的に行動する態度、能力を培い、国際的に活躍できるグローバル人材を育成するためには、英語のコミュニケーション能力を身につけることが必要であり、事業としても有効である。</p> <p>国際系学科などへの重点配置など、各学校の特色に応じて配置することで、全県立高等学校へ効率的にALTの配置を行なっている。スピーキングテスト、ライティング指導などが充実し、生徒の学習効果をより丁寧に評価できている。</p> <p>全県立高等学校へのALT配置により、英語によるコミュニケーション能力の向上や異文化理解への態度の育成、幅広い国際的な視野の育成が図られており、今後も目標達成に向け計画的に取組を進める。</p>						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり				所管課班	高校教育課教育指導班			
事業名	海外留学チャレンジプラン（平成24年度～）				連絡先	078-362-9447			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額		29年度決算額		30年度当初予算額		31年度当初予算額	
	事業費①	20,764千円		20,764千円		18,864千円		17,034千円	
	経費内訳	報酬・賃金					0千円		0千円
		委託料					0千円		0千円
		補助金・交付金	19,000千円		19,000千円		17,100千円		15,270千円
		貸付金					0千円		0千円
		その他需用費等	1,764千円		1,764千円		1,764千円		1,764千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(16,264千円)		(16,264千円)		(14,364千円)		(13,734千円)
		（県債）					(0千円)		(0千円)
		（その他[]）					(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(4,500千円)		(4,500千円)		(4,500千円)		(3,300千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,509千円		3,614千円		3,549千円		3,562千円
		職員給与費 a	3,090千円		3,136千円		3,070千円		3,083千円
		賞与引当金繰入額 b	182千円		218千円		218千円		218千円
退職手当引当金繰入額 c		237千円		260千円		261千円		261千円	
総コスト（①+②）	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		24,273千円		24,378千円		22,413千円		20,596千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
		高校生の海外留学支援者数	目標	121	160	131	160		
		実績（見込）	106	127	(131)	(160)			
		（単位当たりコスト）	(229千円)	(192千円)	(171千円)	(129千円)			
		[うち事業拡大分]							
		達成率（見込）	87.6%	79.4%	(100.0%)	(100.0%)			
		目標							
		実績（見込）							
		（単位当たりコスト）							
		[うち事業拡大分]							
	達成率（見込）								
評価	<p>国際社会において地球的視野に立ち、主体的に行動する態度、能力を培い、国際的に活躍できるグローバル人材を育成するため、英語のコミュニケーション能力を身につけ、高校生が主体性、積極性を持って海外に目を向ける環境を整え、海外留学の支援をすることができ、生徒の語学力向上への意欲を高めている。</p> <p>海外留学の支援対象者選考については、市立・私立高等学校も含めて、（公財）兵庫県高等学校教育振興会に委託し一括実施することで、選考にかかる経費の抑制を図っている。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり		所管課班	高校教育課教育指導班				
事業名	次世代育成国際交流事業（平成19年度～）		連絡先	078-362-9447				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	10,423 千円	10,116 千円	10,116 千円	10,116 千円			
	経費内訳	報酬・賃金			0 千円	0 千円		
		委託料			0 千円	0 千円		
		補助金・交付金			0 千円	0 千円		
		貸付金			0 千円	0 千円		
		その他需用費等	10,423 千円	10,116 千円	10,116 千円	10,116 千円		
	（財源内訳）	（国庫支出金）			(0千円)	(0千円)		
		（県債）			(0千円)	(0千円)		
		（その他[]）			(0千円)	(0千円)		
		（一般財源）	(10,423千円)	(10,116千円)	(10,116千円)	(10,116千円)		
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員	0.6人	従事人員	0.6人	
			0 千円	0 千円	5,323 千円	5,342 千円		
職員給与費 a				4,605 千円	4,625 千円			
賞与引当金繰入額 b				327 千円	327 千円			
退職手当引当金繰入額 c				391 千円	391 千円			
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員	0.6人	従事人員	0.6人		
		10,423 千円	10,116 千円	15,439 千円	15,458 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたいと思う高校生(3年生)の割合	目 標	44.0%	47.0%	50.0%	50.0%		
		実績（見込）	42.6%	48.5%	(50.0%)	(50.0%)		
		(単位当たりコスト)	(245 千円)	(209 千円)	(309 千円)	(309 千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率（見込）	96.8%	103.2%	(100.0%)	(100.0%)			
	達成率（見込）	目 標						
		実績（見込）						
(単位当たりコスト)								
[うち事業拡大分]								
達成率（見込）								
評価	<p>高校生が海外でのホームステイや現地高校生との交流をとおして、異文化を理解・尊重する態度を身につけ、高校生の幅広い国際的視野を育成するために必要であるとともに、教育関係者が国際的識見を高め、指導力向上を図り、次世代を担う生徒の育成に必要な事業である。</p> <p>派遣先及び派遣元国において、相互主義に基づく協定書を締結し、役割分担を整理しており、高校生交流については、生徒渡航費用を受益者負担とするなど、受益と負担の適正化を図っている。また、教員交流については、教員育成及び教育内容充実の一環として県費負担により実施することが妥当である。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり		所管課班	高校教育課教育指導班			
事業名	スーパーグローバルハイスクール事業（平成26年度～）		連絡先	078-362-9447			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①	50,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	30,000 千円		
	経費内訳	報酬・賃金			0 千円	0 千円	
		委託料			0 千円	0 千円	
		補助金・交付金			0 千円	0 千円	
		貸付金			0 千円	0 千円	
		その他需用費等	50,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	30,000 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(50,000千円)	(40,000千円)	(40,000千円)	(30,000千円)	
		（県債）			(0千円)	(0千円)	
		（その他[]）			(0千円)	(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員		従事人員	0.2人	従事人員 0.2人	
		0 千円	0 千円	1,774 千円	1,780 千円		
職員給与費 a				1,535 千円	1,541 千円		
賞与引当金繰入額 b				109 千円	109 千円		
退職手当引当金繰入額 c				130 千円	130 千円		
総コスト（①+②）	従事人員		従事人員	0.2人	従事人員 0.2人		
		50,000 千円	40,000 千円	41,774 千円	31,780 千円		
	〔うち事業拡大分〕	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		課題研究に関する国外の研修参加者数	目標	270	270	270	230
		実績（見込）	262	302	(270)	(230)	
		（単位当たりコスト）	(191 千円)	(132 千円)	(155 千円)	(138 千円)	
		〔うち事業拡大分〕					
		達成率（見込）	97.0%	111.9%	(100.0%)	(100.0%)	
	課題研究に関して企業や大学教員等の外部人材が参画した延べ人数（地域創生戦略推進に係るアクションプラン）	目標	360	360	360	360	360
		実績（見込）	512	596	(360)	(360)	
		（単位当たりコスト）	(98 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	
		〔うち事業拡大分〕					
	達成率（見込）	142.2%	165.6%	(100.0%)	(100.0%)		
評価	<p>急速にグローバル化が進展する状況を踏まえ、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する必要がある。そのために、海外の大学・高校、国際機関、国内の大学・企業等と協働で調査研究に取り組むことは、グローバル・リーダーに必要な社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身につけるための体制整備に有効である。</p> <p>教育委員会と各学校との事務分担等を整理し、事業効果を高めつつ、事業終了後も各学校が取組を継続できるように経費面での効率的運用を図る。</p> <p>海外との課題研究や外部人材の活用により、学校としての組織的な研究体制の構築が進められており、課題研究等への魅力を感じる生徒も多いことから、今後も目標達成に向けて計画的に取組を進める。</p>						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり		所管課班	高校教育課教育指導班				
事業名	ひょうごスーパーハイスクール事業		連絡先	078-362-9447				
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①			15,000 千円	15,000 千円			
	経費内訳	報酬・賃金			0 千円	0 千円		
		委託料			0 千円	0 千円		
		補助金・交付金			0 千円	0 千円		
		貸付金			0 千円	0 千円		
		その他需用費等			15,000 千円	15,000 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)			(0千円)	(0千円)		
		(県債)			(0千円)	(0千円)		
		(その他[])			(0千円)	(0千円)		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(15,000千円)	(15,000千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人	
		0 千円	0 千円	886 千円	889 千円			
職員給与費 a				767 千円	770 千円			
賞与引当金繰入額 b				54 千円	54 千円			
退職手当引当金繰入額 c				65 千円	65 千円			
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員	0.1人	従事人員	0.1人		
		0 千円	0 千円	15,886 千円	15,889 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	課題研究に関する国外の研修参加者数	目 標			300	300		
		実績(見込)			(250)	(300)		
		(単位当たりコスト)			(64 千円)	(53 千円)		
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)			(83.3%)	(100.0%)			
	課題研究に関して大学や企業の外部人材が参画した延べ人数	目 標			400	500		
		実績(見込)			(350)	(500)		
		(単位当たりコスト)			(0 千円)	(0 千円)		
		[うち事業拡大分]						
達成率(見込)			(87.5%)	(100.0%)				
評価	<p>急速にグローバル化が進展する状況を踏まえ、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーを高等学校段階から育成する必要がある。そのために、海外の大学・高校、国際機関、国内の大学・企業等と協働で調査研究に取り組むことは、グローバル・リーダーに必要な社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身につけるための体制整備に有効である。</p> <p>教育委員会と各学校との事務分担等を整理し、事業効果を高めつつ、事業終了後も各学校が取組を継続できるように経費面での効率的運用を図る。</p> <p>海外との課題研究や外部人材の活用により、学校としての組織的な研究体制の構築が進められており、課題研究等への魅力を感じる生徒も多いことから、今後も目標達成に向けて計画的に取組を進める。</p>							
	3年目の見直し							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり		所管課班	高校教育課教育指導班				
事業名	地域との協働による先進的教育研究開発事業		連絡先	078-362-9447				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①				15,000 千円			
	経費内訳	報酬・賃金				0 千円		
		委託料				0 千円		
		補助金・交付金				0 千円		
		貸付金				0 千円		
		その他需用費等				15,000 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)				(15,000千円)		
		(県債)				(0千円)		
		(その他[])				(0千円)		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)		(0千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 0.1人
			0 千円	0 千円	0 千円	889 千円		
		職員給与費 a				770 千円		
		賞与引当金繰入額 b				54 千円		
退職手当引当金繰入額 c					65 千円			
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 0.1人	
		0 千円	0 千円	0 千円	15,889 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	国の指定を受けた学校で、先進的な研究に取り組む生徒の割合	目標				100%	/	
		実績(見込)				(100%)		
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]				(159 千円)		
		達成率(見込)				(100.0%)		
	[]	目標					/	
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]						
		達成率(見込)						
	評価	Society5.0の実現に向け、地域を分厚く支える人材の育成が必要である。そのために、高等学校が自治体、大学、産業界等と協働してコンソーシアムを構築し、地域課題の解決等の探究的な学びを実現する取組を推進することが必要である。 教育委員会と各学校との事務分担等を整理し、事業効果を高めつつ、事業終了後も各学校が取組を継続できるよう経費面での効率的運用を図る。						
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	高校教育課教育指導班			
事業名	高大接続改革推進事業			連絡先	078-362-9444			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①				13,166 千円			
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料				0 千円		
		補助金・交付金				0 千円		
		貸付金				0 千円		
		その他需用費等				13,166 千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)				(0千円)		
		(県債)				(0千円)		
		(その他[])				(0千円)		
		(一般財源)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(13,166千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 0.1人
			0 千円	0 千円	0 千円	892 千円		
		職員給与費 a				771 千円		
		賞与引当金繰入額 b				55 千円		
退職手当引当金繰入額 c					66 千円			
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員		従事人員		従事人員 0.1人	
		0 千円	0 千円	0 千円	14,058 千円			
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
		指定校における大学教授等による発展的な授業の回数	目 標				45	
		実績(見込)				(45)		
		(単位当たりコスト)				(312 千円)		
		[うち事業拡大分]						
		達成率(見込)				(100.0%)		
		目 標						
		実績(見込)						
		(単位当たりコスト)						
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)							
評価	<p>・地域の学びの中核として有為な人材を育成してきた地方の県立高校が、その役割を発揮できるように、高校と大学が連携して発展的高大接続プログラムを実施する。</p> <p>・指定校（3校）において、大学が開発した教育プログラムを取り入れた教育課程を開発・実践することにより、生徒の学力向上を図る方策の一つとして有効である。</p>							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系		未来に挑む人づくり		所管課班		義務教育課 初等・中学校教育班		
事業名		地域人材を活用した小学校英語教育支援充実事業（平成29年度～）		連絡先		078-362-3771		
事業に要するコスト	区 分		28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①			10,000 千円	10,000 千円	9,400 千円		
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金						
		貸付金						
		その他需用費等						
	(財源内訳)	(国庫支出金)		(3,333千円)	(3,333千円)	(3,133千円)		
		(県債)						
		(その他[])						
		(一般財源)		(6,667千円)	(6,667千円)	(6,267千円)		
	人件費② (a+b+c)		従事人員		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人
			0 千円	9,037 千円	8,871 千円	8,904 千円		
職員給与費 a				7,841 千円	7,675 千円	7,708 千円		
賞与引当金繰入額 b				545 千円	545 千円	545 千円		
退職手当引当金繰入額 c				651 千円	651 千円	651 千円		
総コスト (①+②)		従事人員		従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	
			0 千円	19,037 千円	18,871 千円	18,304 千円		
[うち事業拡大分]			[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
	小学校外国語における地域人材等の外部人材活用した実施校数(地域創生戦略推進に係るアクションプラン)	目 標			200	400	588	
		実績(見込)			177	(400)	(588)	
		(単位当たりコスト)			(108 千円)	(47 千円)	(31 千円)	
		[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)			88.5%	(100.0%)	(100.0%)		
	目 標	目 標						
		実績(見込)						
(単位当たりコスト)								
[うち事業拡大分]								
達成率(見込)								
評価	各市町での事業実施にあたっては、教員OB等地域人材を活用するなど、各市町が工夫して事業実施するとともに、国事業（国庫1/3）を活用することでコストの抑制を図っている。地域によっては地域人材の確保に課題が見られたことから、県内大学との連携や各市町を対象とした説明会で人材確保を呼びかけ、事業目的達成に努める。							
3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり			所管課班	教職員課 管理・免許班			
事業名	メンタルヘルス総合対策事業			連絡先	078-362-3749			
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額			
	事業費①	21,591千円	21,653千円	21,544千円	21,645千円			
	経費内訳	報酬・賃金	12,711千円	12,771千円	12,864千円	12,864千円		
		委託料	4,997千円	4,997千円	4,997千円	5,090千円		
		補助金・交付金						
		貸付金						
		その他需用費等	3,883千円	3,885千円	3,683千円	3,691千円		
	(財源内訳)	(国庫支出金)						
		(県債)						
		(その他[])						
		(一般財源)	(21,591千円)	(21,653千円)	(21,544千円)	(21,645千円)		
	人件費② (a+b+c)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人		
			879千円	906千円	889千円	892千円		
	職員給与費 a		773千円	785千円	768千円	771千円		
		賞与引当金繰入額 b	46千円	55千円	55千円	55千円		
退職手当引当金繰入額 c		60千円	66千円	66千円	66千円			
総コスト (①+②)	従事人員	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人			
		22,470千円	22,559千円	22,433千円	22,537千円			
	[うち事業拡大部分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]			
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】	
			10月審査会時点における療養者数の減少	目標	110	110		110
		実績(見込)		145	128	(145)	(111)	/
		(単位当たりコスト)		(155千円)	(176千円)	(155千円)	(203千円)	
	[うち事業拡大部分]						/	
	達成率(見込)		75.9%	85.9%	(75.9%)	(99.1%)		/
	リワーク支援プログラム参加者の再発率%(復帰後1年以内)	区分	目標	15	15	15	15	
			実績(見込)		0	0	(23)	(15)
		(単位当たりコスト)		-	-	(975千円)	(1,502千円)	/
		[うち事業拡大部分]						
達成率(見込)		100.0%	100.0%	(65.2%)	(100.0%)	/		
							/	
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・10月審査会時点における療養者数は、減少傾向にあったものの平成30年度は増加し、依然として目標値とは開きがあるため、さらなる取組みが必要である。リワーク支援プログラム参加者の再発率については、毎年度目標を達成しているが、平成30年度は増加の見込みである。 ・平成27年度からメンタルヘルスアドバイザーの担当エリアを変更し配置数を見直す(8人→7人)など、コスト削減を図っている。 							
	3年目の見直し	-						

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり	所管課班	義務教育課 初等・中学校教育班				
事業名	幼児教育連携促進事業	連絡先	078-362-3771				
事業に要するコスト	区分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額		
	事業費①					17,503 千円	
	経費内訳	報酬・賃金					
		委託料					
		補助金・交付金					
		貸付金					
		その他需用費等					
	(財源内訳)	(国庫支出金)					
		(県債)					
		(その他[超過課税])					(17,503千円)
(一般財源)							
人件費② (a+b+c)	従事人員		従事人員		従事人員	従事人員 1.0人	
		0 千円	0 千円	0 千円	8,904 千円		
職員給与費 a						7,708 千円	
	賞与引当金繰入額 b					545 千円	
	退職手当引当金繰入額 c					651 千円	
総コスト (①+②)	従事人員		従事人員		従事人員	従事人員 1.0人	
		0 千円	0 千円	0 千円	26,407 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	幼児教育の質の向上を図る研修会に参加した園所の割合	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】
		目 標				80	
		実績(見込)				(80)	
		(単位当たりコスト)				(330 千円)	
	[うち事業拡大分]						
	達成率(見込)				(100.0%)		
	学びの連続性に関する園内研修を実施した園所の割合	目 標				80	
		実績(見込)				(80)	
(単位当たりコスト)					(330 千円)		
[うち事業拡大分]							
達成率(見込)				(100.0%)			
評価	<p>子ども子育て支援新制度の策定により、幼保一元化が図られ、3歳児以上の幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が共通して示された。そのため、幼稚園、認定こども園、保育所の関係する機関が連携して、教員等の能力アップ、保護者の幼児教育に対する理解の推進等について協議を行い、幼児教育の更なる充実が求められることから事業の実施を行う。実施にあたっては、各幼児教育施設の教員等を対象とした既存の研修事業との関連を図り、内容やコストの効率化を図る。</p>						
	3年目の見直し	—					

事務事業評価調書

施策体系	未来に挑む人づくり		所管課班	社会教育課社会教育班					
事業名	学校・家庭・地域の連携協力推進事業（平成28年度～）		連絡先	078-362-3782					
事業に要するコスト	区 分	28年度決算額	29年度決算額	30年度当初予算額	31年度当初予算額				
	事業費①	110,073 千円	100,832 千円	103,584 千円	84,927 千円				
	経費内訳	報酬・賃金							
		委託料							
		補助金・交付金	107,813 千円	94,638 千円	98,512 千円	80,725 千円			
		貸付金							
		その他需用費等	2,260 千円	6,194 千円	5,072 千円	4,202 千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(54,659千円)	(49,383千円)	(50,946千円)	(41,761千円)			
		（県債）							
		（その他[]）							
		（一般財源）	(55,414千円)	(51,449千円)	(52,638千円)	(43,166千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人		
			7,019 千円	7,230 千円	7,097 千円	7,123 千円			
		職員給与費 a	6,181 千円	6,273 千円	6,140 千円	6,166 千円			
		賞与引当金繰入額 b	364 千円	436 千円	436 千円	436 千円			
退職手当引当金繰入額 c		474 千円	521 千円	521 千円	521 千円				
総コスト（①+②）	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人	従事人員	0.8人			
		117,092 千円	108,062 千円	110,681 千円	92,050 千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[0千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度目標	最終目標【年度】		
	地域住民による学校地域連携の仕組みを有する小・中学校の割合（政令市・中核市を除く）	目 標		80	90	100	/	【30年度】	
		実績（見込）		76	90	(100)			
		（単位当たりコスト）		(1,541 千円)	(1,201 千円)	(1,107 千円)			
		[うち事業拡大分]							
	（活力あるふるさと兵庫実現プログラム目標における指標）	達成率（見込）		95.0%	100.0%	(100.0%)			
		目 標					/	100【35年度】	
		実績（見込）				(25)			(35)
		（単位当たりコスト）				(0 千円)			(0 千円)
	[うち事業拡大分]								
達成率（見込）					#DIV/0!	(100.0%)			
評価	<p>事業ごとに分かれていた地域コーディネーター等を統合するなど効率的な事業実施に取り組み、各市町に地域コーディネーターを1名以上配置することができたとともに、地域学校協働活動を推進するための地域学校協働本部の設置を進めることができた。</p> <p>学校地域連携の推進は順調に進んでいる。地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を積極的に推進し、「支援」から「連携・協働」を目指す体制の下、地域学校協働活動を推進するため、新たな目標を設定し、その目標達成に向けた取組みを引き続き行う。</p>								
3年目の見直し	—								